

持続性のある笑顔あふれるまちづくり

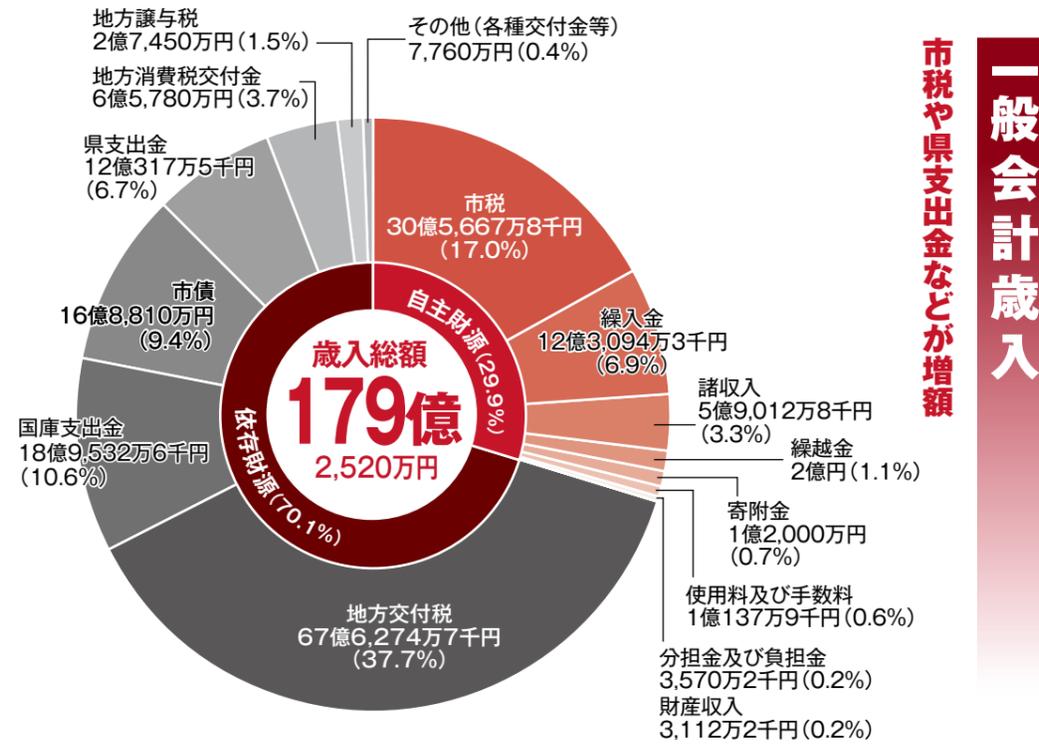
「かつづの安心安全強化予算」

一般会計予算総額

179億2,520万円

対前年度比 1.5%増

令和2年度当初予算は、「第6次鹿角市総合計画後期基本計画（H28～R2）」の最終年として、将来都市像「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」の実現を目指して、産業力の強化をはじめとした8つの重点プロジェクトの目標達成に向け、総力を挙げて取り組むとともに、市民が安心して暮らすことができる持続可能な地域社会の形成を図る予算としました。



一般会計歳出(目的別)

名称	予算額	割合(%)
議会費	1億7,131万円	1.0
総務費	22億2,667万5千円	12.4
民生費	57億6,279万9千円	31.8
衛生費	10億1,586万3千円	5.7
労働費	2,025万2千円	0.1
農林水産業費	7億2,366万5千円	4.0
商工費	13億8,957万9千円	7.8
土木費	17億5,196万1千円	9.8
消防費	7億8,990万2千円	4.4
教育費	20億8,770万4千円	11.6
災害復旧費	4千円	0.0
公債費	19億8,677万円	11.1
諸支出金	2,523万6千円	0.1
予備費	3,000万円	0.2
計	179億2,520万円	100.0

一般会計歳出

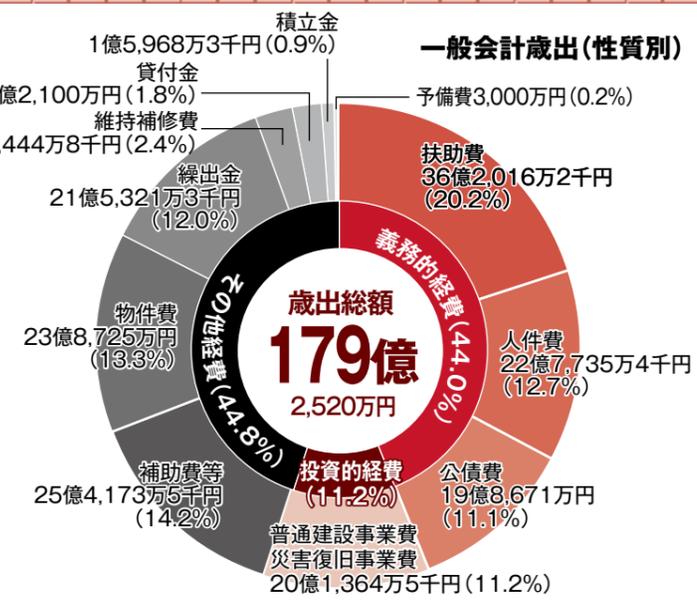
「産業力の強化」など重点プロジェクトを推進

市税は、景気の緩やかな回復基調を背景とした給与所得の増加見込みによる市民税個人分の増額のほか、家屋の新増築と企業の設備投資による固定資産税の増加などを見込み、対前年度比1.1%増です。

国庫支出金は、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金や学校施設環境改善交付金などが増加したものの、生活保護費負担金や社会資本整備総合交付金などの減少により、対前年度比2.3%減です。

県支出金は、地域密着型サービス施設等整備事業費補助金などが減少したものの、国民体育大会会場地市町村運営交付金などの増加により、対前年度比2.9%増です。

市債は、新規事業として、情報教育推進事業、継続事業として、鹿角観光ふるさと館改修事業、学校大規模改修事業、公営住宅建設事業に係る市債を計上し、対前年度比8.5%増です。



主な事業

新規事業	継続事業
防災行政無線通信システム整備事業	5,386万2千円
国土強靱化地域計画策定事業	650万円
全世代型包括的支援事業	328万6千円
スマート農業実証等推進事業	175万5千円
国立公園八幡平魅力アップ構想策定事業	200万円
ヘリテージ・ツーリズム推進事業	440万1千円
景観計画策定事業	1,141万8千円
GIGAスクール整備事業	4,262万5千円
東京2020オリンピック聖火リレー開催事業	777万8千円
国民体育大会推進費	1億375万円
福祉医療給付事業	2億1,456万5千円
自治会等コミュニティ活性化支援事業	1,849万7千円
医師確保対策事業	5,236万8千円
あんしん医療推進事業	3,459万8千円
各種検診推進事業	3,209万7千円
公共牧野整備事業	3,620万円
園芸メカ団地整備事業	2,852万円
新規就農者育成支援事業	2,671万9千円
地域新エネルギー利活用推進事業	248万1千円
地域商社確立事業	2,185万9千円
企業立地促進事業	9,041万円
観光アクセス充実対策事業	884万8千円
かつづのプレミアムツアー造成事業	218万6千円
女性若者活躍促進事業	521万7千円
鹿角観光ふるさと館改修事業	6億8,505万8千円
公営住宅建設事業	3億2,990万4千円
統合校舎(花輪第二中学校)大規模改修事業	3億9,997万4千円
花輪スキー場ゲレンデ設備改修事業	5,201万1千円

特別会計

総額83億1,324万4千円
対前年度比10.7%減

特定の事業を行うために一般会計と区分して設置している特別会計では、国民健康保険事業は、一般被保険者数が減少しているものの、高齢化や医療の高度化などによる一人当たりの医療費の増加により、対前年度比3.0%増です。後期高齢者医療は、保険料率の改定などにより、対前年度比10.2%増です。介護保険事業は、介護サービス利用者数やサービス利用率の増加に加え、シルバーバリアフリー体操などの介護予防重点化防止への取り組みなどの促進により、対前年度比1.3%増です。下水道事業と農業集落排水事業の2会計は、企業会計に移行し、下水道事業会計となることから、特別会計全体では、対前年度比10.7%減となっています。

人件費は、会計年度任用職員制度開始に伴う期末手当の支給や物件費(賃金など)から給与への計上替えなどにより、対前年度比13.8%増です。

物件費は、行政情報システム管理費に係るシステム構築委託料などが増加したものの、賃金の廃止による影響などにより、対前年度比2.9%減です。

補助費等は、国民体育大会冬季大会スキー競技会補助金などが増加したものの、企業立地助成金などの減少により、対前年度比5.4%減です。

公債費は、まちなかオフィス整備事業などに活用するために借入した過疎対策事業債などの元金償還開始により、対前年度比1.7%増です。

普通建設事業費は、防災行政無線通信システム整備事業や鹿角観光ふるさと館改修事業などにより、対前年度比6.8%増です。

特別会計予算額

特別会計名	予算額	前年度比(%)
国民健康保険事業	32億445万円	3.0
後期高齢者医療	4億946万8千円	10.2
介護保険事業	46億9,932万6千円	1.3
計	83億1,324万4千円	-10.7

上水道事業会計予算額

区分	収入	支出
収益的収支	6億3,762万4千円	6億2,568万1千円
資本的収支	1億5,875万4千円	4億1,341万5千円

下水道事業会計予算額

区分	収入	支出
収益的収支	8億8,148万9千円	8億8,148万9千円
資本的収支	4億5,920万5千円	7億2,018万4千円